

信州気候変動適応センター通信 No.6

「信州の雪は将来、どうなる？」 を開催しました

日時：2025年2月11日(火) 14時～16時

場所：会場(長野市生涯学習センター大学習室1)とオンライン(Zoom ウェビナー)

公益社団法人日本雪氷学会北信越支部主催、当適応センター共催の公開講演会「信州の雪は将来、どうなる？」が、2025年2月11日(火)14時～16時、対面(長野市生涯学習センター大学習室1)とオンライン(Zoom ウェビナー)のハイブリッド形式で開催されました。参加者は約150名でした。今年の冬は北海道や東北をはじめ日本各地で大雪となり、長野県でも北部の飯山や信濃町、白馬などでは雪がかなり積もっていることから、多くの方々に関心を持っていただけたのではないかと思います。

講演会の前半では、気象キャスターで気象予報士の井田寛子さんから「近年の異常気象と気候変動～極端化する雪の降り方」について、気象研究所の川瀬宏明さんから「地球温暖化で雪はどうなる？長野の雪は増える？減る？」と題して、近年の降雪が極端化していることや、長野県の特に標高の高い場所では雪は将来増える可能性もあることなど、まさに適応を考えるうえでの貴重な情報を提供いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、POW ジャパンの高田翔太郎さん、(株)五竜の中野比呂志さん、Stuben Magazine 編集者の尾日向梨沙さんにご登壇



講演中の川瀬さん

いただき、そうした雪の変化に直面している立場から、雪への想いととも、気候変動への取組について紹介をいただきました。短い時間ではありましたが、参加された方にとって、この講演会が、長野県の雪の将来の変化やそれへの適応について、考えるあるいは行動していくきっかけになればと思っています。

なお、途中の休憩時間には、グリーンピースジャパン作成の諏訪湖御神渡りに関するドキュメンタリー映画「御渡り」をご覧いただきました。

(浜田 崇/自然環境部)



編集後記

●2月1日には、信州生物多様性ネットぎずなと長野県による「第10回ぎずなフォーラム『あらたな生物多様性の保全活動を目指して～10年を振り返って～』」も開催しました。●令和7年4月には、地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律が施行され

ます。自然共生サイト等、生物多様性を増進させる制度や取り組みにも注目です。●令和7年度も施設公開、山と自然のサイエンスカフェなどのイベントにぜひご参加ください。

(編集担当：坂爪・高野・黒江)